

東芝ライテック(株) 沼津工場 サイトレポート情報

所在地	静岡県沼津市原2608番地58
敷地面積	34,338 m ² 、建家面積:10,139 m ² 、緑化率 26.3 %
設立	2002年7月、従業員:414人(2015年3月現在)
主要製品	施設用照明器具、インバーター安定器、配線部品
ISO14001認証取得	2002年3月、最新更新年月:2014年10月 (ISO認証番号: EC99J2026) 2014年9月 統合認証取得



ごあいさつ

東芝ライテック(株)沼津工場は、静岡県東部の富士箱根伊豆国立公園に囲まれた温暖で、水と緑に恵まれた自然環境の中で事業展開しています。工場ではLED照明を主とした施設用照明器具及び、その構成品のLED用電源、配線用部品、金属プレス部品や樹脂成形部品の製造を行っています。LED照明器具の生産機種を大幅に拡大し、使用段階でのCO₂排出量削減を推進しており、LED製品の需要拡大に対応するための設備投資や効率のよい生産体制の構築、製造ラインの生産性改善など環境負荷低減に全員で取組んでいます。



環境保全責任者 山本一行

2014年度の環境の主な取組み

- ☆ISO14001環境マネジメントシステム
2002年10月に認証取得、2013年10月に統合認証取得、2014年10月に更新完了
- ☆環境保全体制の充実
法令、条例の順守(騒音・振動、水質等の測定)・現場管理の強化(日常点検)
- ☆化学物質取扱量の削減
化学物質取扱量の生産高原単位 目標 0.125 t/億円 (実績 0.101 t/億円)
- ☆CO₂排出量の削減
CO₂の排出量の生産高原単位 目標 21.8 t-CO₂/億円 (実績 17.5 t-CO₂/億円)
- ☆廃棄物ゼロエミッションの継続
廃棄物総発生量の生産高原単位 目標 6.83 t/億円 (実績 6.52 t/億円)
最終処分率 目標 0.50%以下 (実績 0.11%)
- ☆生物多様性の推進
敷地内希少生物の特定と保護・観察・測定の実施
- ☆全員参加・啓発活動の展開
環境月間、3R推進月間、省エネ月間による環境啓発活動、工場周辺の美化活動実施。

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介

LEDベースライト TENQ00シリーズ



LED一体型ベースライト



LED直管ランプ用器具



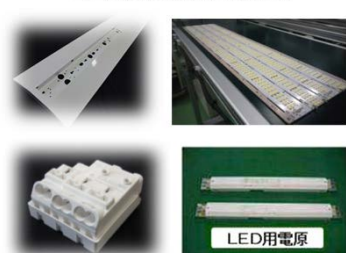
LED防犯灯



制御系製品



LED製品用内製部品



環境方針

東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝コミュニティー・ソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の防止などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを遵守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 地球温暖化の防止、資源の有効活用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

4. 東芝ライテック株式会社はスマートコミュニティー事業を通して、環境配慮都市の構築に貢献します。上記東芝グループ方針に加えて当社の事業分野である、照明商品、照明システムの製品開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

- (1) 環境調和型製品（ECP）、さらには業界トップの環境性能を誇るエクセレントECPの創出・普及により、製品やシステム全体における省エネルギー、資源有効活用、有害化学物質削減を推進します。
- (2) エネルギー使用設備において管理の徹底、設備改善等を行い、電力、天然ガス等の使用量を削減し、CO₂排出量を抑制します。
- (3) 水質・騒音等にかかわる施設について、管理の徹底、設備改善等を行い環境に与える影響を最少にするとともに事故等の予防措置に努めます。
- (4) 循環型社会を目指し、廃棄物の削減及びリサイクル、化学物質取扱量の削減などを図り、資源の有効活用を推進します。
- (5) 地域社会と連携し、各生産拠点で生物多様性に向けた環境活動展開し、自然との共生を図ります。

2014年6月24日

東芝ライテック株式会社
取締役社長

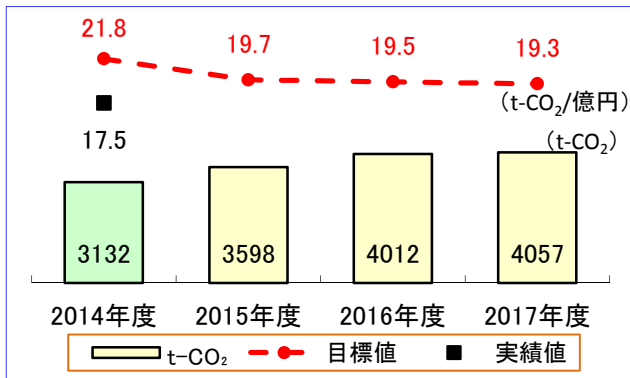
揖斐洋一

環境目的・目標

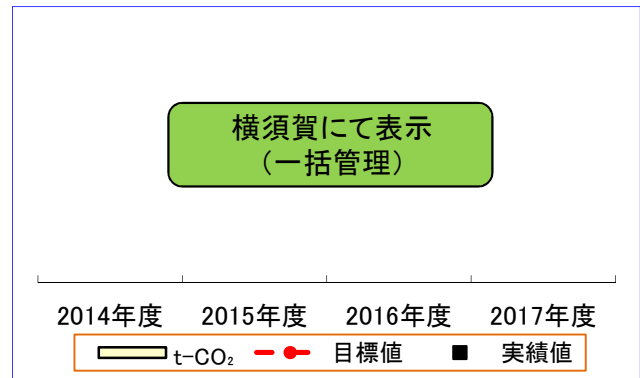
取組み項目		2015年度	2016年度	2017年度
地球温暖化防止	エネ起源CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	19.7	19.5	19.3
	物流CO ₂ 総排出量原単位の改善(t-CO ₂ /億円)	—	—	—
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	6.4	6.3	6.1
	最終処分率の管理(%)	<0.35	<0.35	<0.35
	水受入量原単位の改善(千m ³ /億円)	0.277	0.275	0.272
化学物質管理	取扱量原単位の改善(t/億円)	0.111	0.110	0.109
生物多様性	生物多様性の推進	指標種の保護	指標種の保護、拡大	指標種の保護、拡大

環境負荷データ

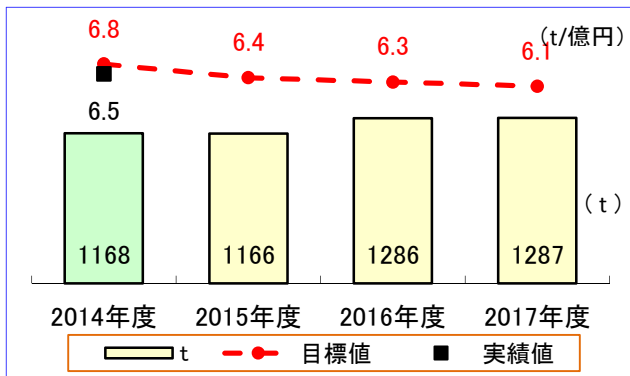
エネ起源CO₂



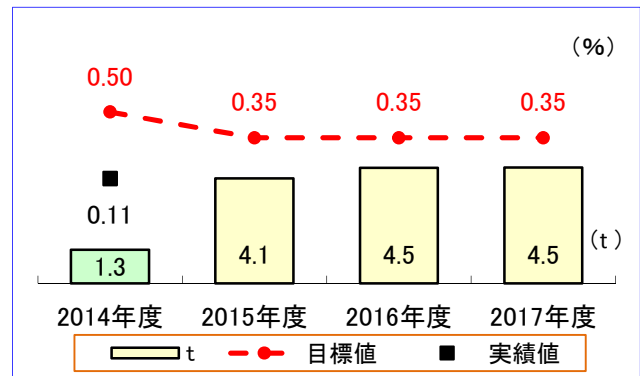
物流CO₂



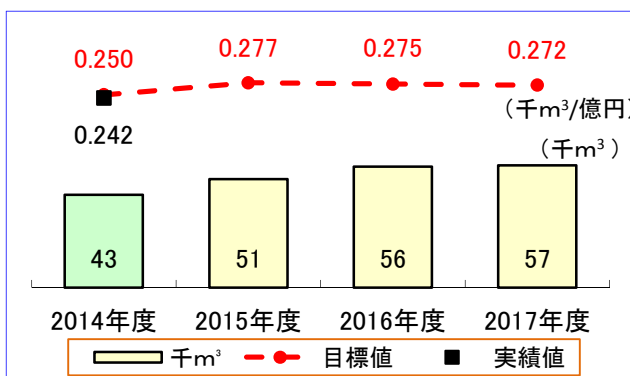
廃棄物総発生量



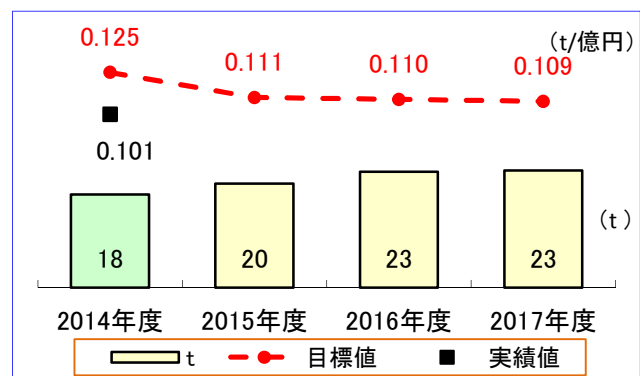
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



コミュニケーションの紹介

<工場構外清掃の実施>

当工場では、6月の環境月間と11月の沼津市内一斉クリーン週間に合わせて、近隣道路周辺の清掃活動を、毎年2回継続して実施しています。当日は工場を起点に、国道1号沿線沿い及び工場入口周辺のポイ捨てゴミを拾う美化活動を行いました。今後も地域活動の一環として継続し、従業員への環境保全に対する意識高揚も推進していきます。

(実施概要)

- ・実施日：2014年 5月14日
11月13日
(年に2回実施)
- ・参加人数：約100名(構内常駐会社含む)
- ・成果：各28及び65袋のゴミ回収



<高校生のインターンシップ受入>

地元 沼津工業高校のインターンシップ受入を本年度も実施し、2日間に渡り、LED照明器具組立作業の体験をしました。

(実施概要)

- ・日時：2013年6月6日、7日
- ・参加人数：4名



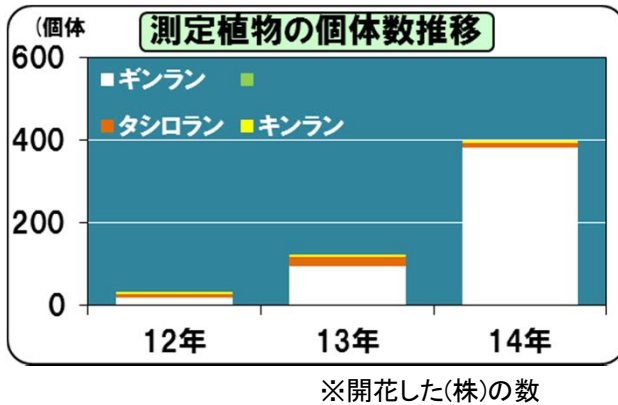
生物多様性の取組み

指標種(保護種)の選定

指標生物	指標生物の希少性
キンラン	絶滅危惧II類(VU)／環境省 (準絶滅危惧(NT)／静岡県)
タシロラン	準絶滅危惧(NT)／環境省及び静岡県
ギンラン	環境省・静岡県共指定なし(東京都は絶滅危惧II類(VU))

ビオトープの概要

工場北側に位置する調整池周辺の緑地帯に生息する植物の中から外部学識者による踏査により、希少植物が特定された。これを指標植物として保護・観察及び測定を開始した。



タシロラン



キンラン



ギンラン